

一斉学習 教師説明型

高知県の町立伊野南中学校
中島里佳

実践タイトル 電子黒板を活用した授業

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板
実物投影機

・視覚に訴えることが簡単にでき、生徒に興味を持たせることができる。

静止画(教科書)

・電子黒板を利用し、教科書の内容をより具体的に説明するために利用した。

参考にしてほしいポイント

・教科書の図やグラフ、また自作教材など授業の中で必要と思われる時、実物投影機で拡大提示し見せることで、取り組むべき課題の内容がよりよく把握でき、生徒の興味・関心、学習意欲を高めることができる。

本時の展開(主な学習活動)

学習の流れ(分)	主な学習活動	ICT機器・教材、コンテンツ等
導入 0 10	・前時の復習。 ・ワークシートの確認。	・ワークシート (高知市教育研究会数学部会発行)
展開 10 40	・乗法公式や因数分解を使って、式を立て、それを解いて答えを導く。 ・電子黒板に公式や手順を拡大提示し、考え方を説明する。 ・3次式など発展的な内容に取り組む。 ・学習班で考える。	・電子黒板、実物投影機 (写真1) (写真2)
まとめ 40 50	・3次式も2次式の展開・因数分解ができれば解けることを確認。	



写真1: 問題を実物投影機で取り込み、表示し、説明



写真2: 学習班では3~4人で、学び(教え)合い

ICT活用への児童生徒の反応等

- ・電子黒板は、授業のたびに活用しており、今回も興味を持って集中して取り組むことができた。
- ・教科書に沿って授業をすることが多いが、電子黒板を使うことで興味や集中が高まるように感じている。

活用効果

評価の観点

・数学への関心・意欲・態度

具体的変容

・大切なポイントを電子黒板で拡大して見せることで考える対象が明確になり、生徒の興味・関心が高まり、より理解を深めることができた。

実践の手応え

- ・CRT(目標基準準拠テスト)の結果を見ると、この学年は年々全ての観点で向上してきており、特に、興味関心の観点では、平成23年度はじめて全国比を上回った。
- ・授業評価を見ても「楽しい」と答える生徒が多く、意欲的に授業に取り組んでいる。
- ・図形を使った問題などでは、きれいな図形を見せることができ、関数の領域ではグラフを簡単に表示することができるので便利で、生徒もわかりやすいと感じている。